

# 第 71 回東邦医学会総会プログラム

平成 29 年 11 月 8 日(水) 17 時～20 時 15 分

平成 29 年 11 月 9 日(木) 17 時～20 時 11 分

平成 29 年 11 月 10 日(金) 17 時～20 時 09 分

会 場： 東邦大学医学部大森臨床講堂 (5 号館 B1F)

当番教室： 8 日 生化学講座

9 日 心臓血管外科学講座 (大森)

10 日 新生児学講座

中野裕康教授

渡邊善則教授

與田仁志教授

11 月 8 日(水)

開会の辞

生化学講座 中野裕康教授

当番教室： 生化学講座

## A. 大学院生研究発表 1 (17:00-17:20)

(発表：各 8 分，討論：各 2 分)

座長：佐藤二美教授 (生体構造学)

1. AYA 世代小児がん経験者における定期的 MRI 検査で発見された無症候性陳旧性脳微小出血 5 例の報告

細谷要介(代謝機能制御系臨床腫瘍)，指導教授：小原 明(大森小児)

審査員：周郷延雄教授，寺原敦朗教授，端詰勝敬教授

2. 海馬特異的神経細胞死の早期検出法の確立と細胞死抑制因子の同定

鳴山文子(代謝機能制御系細胞生理)，指導教授：高松 研(細胞生理)

審査員：赤羽悟美教授，杉山 篤教授，中野裕康教授

(※この発表は平成 28 年度プロジェクト研究報告も兼ねる)

## B. 平成 28 年度プロジェクト研究報告 1 (17:20-17:40)

(発表：各 8 分，討論：各 2 分)

座長：三上哲夫教授 (病理学)

3. 特発性肺線維症におけるピルフェニドンの長期投与に寄与する因子の検討

○松山尚世，中田憲司(大森呼内)

4. ギャップ結合部位近傍のドーパミン D1 受容体の局在

○星 秀夫(生体構造)，狩野 修(大森神内)

## C. 教授特別講演 1 (17:40-18:00)

座長：中嶋 均教授 (先端健康解析センター)

5. Component Separation Technique を用いた腹壁癒痕ヘルニア修復術

教育企画管理部 総合診療・急病センター外科 島田長人教授

## D. 大森病院 CPC Clinico-pathological conference (CPC) (18:00-19:00)

司会：名取一彦准教授 (血液腫瘍科)

6. 多彩な病理像を呈した硬化性胆管炎の 1 例

臨床：中込英理子(大森消内)，病理：二本柳康博(大森病理診断科)

## E. 平成 28 年度医学研究科推進研究報告 1 (19:00-19:15)

(発表：10 分，討論：5 分)

座長：赤羽悟美教授 (統合生理学)

7. 細胞内 Ca<sup>2+</sup>動態修飾薬 caldaret (MCC-135) の左室収縮および拡張能に対する作用

杉山 篤(薬理学)

## F. 分科会報告 1 (19:15-19:30)

(発表：10 分，討論：5 分)

座長：石井良和教授 (微生物・感染症学)

8. MRSA plasma biofilm の構造解析及びその機能に関する検討

○佐藤礼実，大城崇史，長島 誠，岡住慎一，加藤良二(佐倉外科)

濱田将風，山口哲央，石井良和，舘田一博(微生・感染)(佐倉病院学術集会)

**G. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 1 (19:30-19:39) (発表: 7分, 討論: 2分)**

9. 20代の女性に発症した伝染性単核症の1例

秋山友紀, 指導: 井上健太郎(川崎市立川崎病院・消内)

**H. 一般演題 1 (19:39-19:48) (発表: 7分, 討論: 2分)**

**座長: 海老原 覚教授 (リハビリテーション科)**

10. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対し4回の経皮的肺動脈拡張術を行い良好な転帰を辿った1例

○坪野雅一, 小島至正, 八尾進太郎, 岡 崇, 橋本英伸, 池田隆徳(大森循内)

**I. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 2 (19:48-20:15) (発表: 各7分, 討論: 各2分)**

11. 視力低下を契機に見つかった悪性高血圧の1例

須藤友紀, 指導: 川口祐輝(大森腎臓)

**座長: 前谷 容教授 (大橋消化器内科) (19:57-20:15)**

12. 門脈浸潤を伴う進行肝細胞癌に対する集学的治療が奏功した1例

副島啓太, 指導: 五十嵐良典, 永井英成, 向津隆規(大森消内)

13. 脊髄髄膜瘤の1例

廣田 愛, 指導: 玉置優子(大森産婦)

11月9日(木)

当番教室: 心臓血管外科学講座(大森)

**J. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 3 (17:00-17:36) (発表: 各7分, 討論: 各2分)**

**座長: 渡邊善則教授(大森心臓血管外科)**

1. 間質性肺炎が先行して発症した治療抵抗性抗ARS抗体陽性皮膚筋炎の1例

渡邊ひかる, 指導: 金子開知(大森膠原病)

2. 晩期合併症を考慮し治療選択した古典的Hodgkinリンパ腫の1例

入田博史, 指導: 長瀬大輔(血液腫瘍)

3. 下腹部痛を主訴に来院した虚血性腸炎の1例

内藤大輔, 指導: 前田 正(総診内科)

4. ステロイドによる診断的治療にて良好な経過を得た炎症性腹部大動脈瘤の1例

岩田俊太郎, 指導: 小泉雅之(大森循内)

**K. 教授特別講演 2 (17:36-17:56)**

**座長: 高橋 啓教授 (大橋病院病理学)**

5. Biological and clinicopathological features of pulmonary large cell neuroendocrine carcinomas

大森呼吸器外科 伊豫田 明教授

**L. 分科会報告 2 (17:56-18:11) (発表: 10分, 討論: 5分)**

**座長: 諸井雅男教授 (大橋循環器内科)**

6. 超音波検査が有用であった腹腔内出血の1例

○藤崎 純(大橋臨生機), 前谷 容, 渡邊 学(大橋消内)(大橋病院医学会)

**M. 平成28年度プロジェクト研究報告 2 (18:11-18:31) (発表: 各8分, 討論: 各2分)**

7. 薬物誘発性不整脈危険性予測のための再分極予備能のin silico解析

○村上慎吾(統合生理学), 土井範子(教育開発室)

8. 金属タンパク質の活性中心の性質を分子レベルで明らかにするモデル研究

○池崎 章(化学), 中村真樹(生物)

**N. 大学院生研究発表 2 (18:31-19:11) (発表: 各8分, 討論: 各2分)**

**座長: 赤坂喜清教授(先端医科研/組織修復・病態制御学)**

9. SATB1 is required for the development of experimental autoimmune encephalomyelitis through maintaining T cell receptor responsiveness

秋葉 靖(生体応答系分子免疫), 指導教授: 近藤元就(免疫)

審査員: 亀田秀人教授, 舘田一博教授, 中野裕康教授

(※この発表は平成28年度プロジェクト研究報告も兼ねる)

10. Cost of Illness of Ischemic Heart Disease in Japan- a time trend and future projections  
合地俊治(社会環境医療系医療政策経営科学), 指導教授:長谷川友紀(医療政策経営)  
審査員:西脇祐司教授, 村上義孝教授, 澁谷和俊教授
11. Angiotensin 1-7 の単球, helper T 細胞に対する効果  
花城里依(高次機能制御系神経内科), 指導教授:岩崎泰雄(大森神内)  
審査員:藤岡俊樹教授, 瓜田純久教授, 榎原隆次教授
12. II 型肺胞上皮細胞増殖因子同定のためのモデルマウスの樹立  
黒澤武介(生体応答系呼吸器内科), 指導教授:本間 栄(大森呼内)  
審査員:海老原 覚教授, 三上哲夫教授, 松瀬厚人教授

-----**当番教室企画: 招聘講演 (19:11-20:11)**-----

<企画担当> 生化学講座

座長: 中野裕康教授(生化学講座)

「がんの免疫チェックポイント療法はなぜ効くのか?

—分子イメージングが明らかにする T 細胞の活性化制御機構—

横須賀 忠 (東京医科大学 免疫学 教授)

11 月 10 日 (金)

当番教室: 新生児学講座

**0. 平成 28 年度プロジェクト研究報告 3 (17:00-17:10)** (発表: 8 分, 討論: 2 分)

座長: 松裏裕行教授(大森小児科)

1. 虚血性心疾患患者と致死的不整脈の関係

○天野英夫, 小泉雅之(大森循内)

**P. 一般演題 2 (17:10-17:28)** (発表: 各 7 分, 討論: 各 2 分)

2. 小児期発症 Stevens-Johnson 症候群と Toxic epidermal necrosis の臨床像

○本山みどり, 麻生敬子, 松裏裕行, 小原 明(大森小児)

3. Atorvastatin による Fads1, Fads2, Elovl5 遺伝子発現の増強とその作用機構

○田中 翔, 石原典子, 渡邊康弘, 大平征宏, 齋木厚人, 清水直美, 龍野一郎(佐倉糖代内)

**Q. 研修医発表(大森病院初期研修医) 4 (17:28-18:04)** (発表: 各 7 分, 討論: 各 2 分)

座長: 常喜信彦准教授(大橋腎臓内科)

4. 転移性脳腫瘍に対し緩和的放射線療法を行った原発不明がんの 1 例

小椰地洋, 指導: 渡邊利泰(総診内科)

5. ANCA 関連腎炎加療中にニューモシスチス肺炎(PCP)を発症した 1 例

竹下智史, 指導: 斎藤彰信(大森腎臓)

6. 嚢胞液中および血液中の CA19-9 が高値を呈した巨大肝嚢胞の 1 例

吉川 翼, 指導: 吉野 翔, 久保田喜久(大森消外)

座長: 亀田秀人教授(大橋膠原病科)

7. 菊池病に合併したミュンヒハウゼン症候群の 1 例

三海正隆, 指導: 佐々木陽典(総診内科)

**R. 分科会報告 3 (18:04-18:19)** (発表: 10 分, 討論: 5 分)

8. 急性胆嚢炎における起因菌迅速診断—次世代網羅的メタゲノム解析—

○鯨岡 学, 浅井浩司, 渡邊 学, 松清 大, 斎藤智明, 齊田芳久, 草地信也(大橋外科)

黒田 誠(国立感染研・病原体ゲノム解析研究セン)(大橋病院外科集談会)

**S. 大学院生研究発表 3 (18:19-18:59)** (発表: 各 8 分, 討論: 各 2 分)

9. 関節リウマチ滑膜組織における Epstein-Barr ウイルス遺伝子の発現および遺伝子変異の解析

増岡正太郎(生体応答系膠原病学), 指導教授: 南木敏宏(大森膠原病)

審査員: 亀田秀人教授, 石井良和教授, 近藤元就教授

座長: 池田隆徳教授(大森循環器内科)

10. 非定型抗精神病薬 paliperidone の催不整脈作用の評価

千葉浩輝(代謝機能制御系薬理学), 指導教授: 杉山 篤(薬理学)

審査員: 並木 温教授, 瓜田純久教授, 水野雅文教授

11. 呼吸不全を伴う延髄梗塞患者の有病率と臨床放射線学的特徴

澤田雅裕(高次機能制御系神経内科), 指導教授: 岩崎泰雄(大森神内)

審査員: 藤岡俊樹教授, 本間 栄教授, 周郷延雄教授

12. 特発性心室期外収縮に対する経皮吸収型 $\beta$ 1遮断薬ビソプロロールパッチの有効性の検討

篠原正哉(代謝機能制御系), 指導教授: 池田隆徳(大森循内)

審査員: 諸井雅男教授, 杉山 篤教授, 中村正人教授

**T. 平成 28 年度医学研究科推進研究報告 2 (18:59-19:14) (発表: 10 分, 討論: 5 分)**

**座長: 澁谷和俊教授(大森病院病理学)**

13. 消化器癌における血清 IGG 抗体検査の開発

島田英昭(大森消外)

**U. 平成 29 年度東邦医学会賞 (19:14-20:09)**

審査経過報告(島田英昭 運営委員長・選考委員長)

受賞記念講演

**座長: 中野裕康教授(生化学)**

14. Depletion of myeloid cells exacerbates hepatitis and induces an aberrant increase in histone H3 in mouse serum

生化学講座 朴 雪花

受賞記念講演

**座長: 大西 清教授(大森形成外科)**

15. Basic fibroblast growth factor induces angiogenic properties of fibrocytes to stimulate vascular formation during wound healing

大森形成外科 中道美保

受賞記念講演

**座長: 金子開知先生(大森膠原病)**

16. Folylpolyglutamate synthase is a major determinant of intracellular methotrexate polyglutamates in patients with rheumatoid arthritis

大森膠原病 山本竜大

授賞式

**閉会の辞**

**東邦大学医学会 会長 高松 研教授**

1)一般演題, 大学院生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 分科会報告, 医学研究科推進研究報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内\*)を e-mail にデータ添付でお送りください(E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。\* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。

2)教授特別講演の先生は, 雑誌編集事務局へ, 例会・総会当日より 4 週間後に本文 2,000words 前後にご講演内容をまとめて提出してください。

3)CPC の先生は「雑誌掲載用講演抄録」を雑誌編集事務局へ, 提出してください。

4)当番教室企画講演の先生は, 例会・総会当日より 4 週間後に 3,200 字程度の総説形式講演要旨として提出してください。

※1),3),4)は東邦医学会雑誌, 2)は Toho Journal of Medicine 近刊号に掲載の予定です。

※詳細は事務局までお問い合わせください(内線 2465)。

5 号館地下臨床講堂 内線:3862 / PHS:72103(開催日のみ)